

競技注意事項

1 規則

- ・本大会は2023年日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。
※学校対抗の混成は、単独種目として通常のルールで行う。(一度の不正スタートで失格)

2 競技場

- ・主競技場の競走路(8レーン)及び助走路は全天候である。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投のピンの長さは12mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクピンの数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のために、競技規則TR5を厳守されたい。
- ・競技用シューズの靴底については競技規則TR5(シューズ)を守る。ただしフィールド種目は除く。

3 練習

- ・競技開始前のトラックの開放は8:30までとする。
- ・跳躍競技・投擲競技の練習は競技開始40分前より、競技場内で役員の指示により行うものとする。

4 招集

- ・招集は招集所(競技者係)において本人が受けること。その後現地で最終チェックを行う。
- ・招集に遅れたものは、欠場とみなし出場を認めない。
- ・学校対抗の混成は**第1種目の競技開始50分前までにその日の種目の学校対抗オーダー用紙を本部に提出**する。その後は競技日程に示された時間に現地で行う。
- ・2種目を同時に兼ねて出場する選手はその旨を本人または代理人が競技者係および出発係に申し出て了解を得ること。

5 アスリートビブス

- ・アスリートビブスは登録番号とし、顧問総会で配布した数字サンプルを使用して各自で作成して(男女とも黒字)2枚を胸と背につけること。ただし、跳躍競技参加の競技者は胸部または背部だけでもよい。
- ・男子3000mは特別ナンバーカードを使用するので招集所で受け取る。
- ・男子3000m以外の種目(リレー種目は4走のみ)は写真判定用の腰ナンバー標識(レーン番号)を招集所で受け取り、右腰部やや後方につけること。(学校対抗、混成も含む)
- ・特別ナンバーカード、腰ナンバー標識共に競技終了後の返却はない。

6 トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順

- ・トラック競技の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選し、プログラムで示す。

7 リレー競技について

- ・リレー種目は1組目の招集完了1時間前までに**競技者係にオーダー用紙**を提出。
- ・オーダー用紙は招集場所で配布する。
- ・リレー競技に出場するチームのユニフォームは、同一チームが確認できるものとする。

8 写真判定・電気計時

- ・トラック競技においては写真判定を採用する。

9 フィールド競技について

- ・フィールド競技の計測ライン及びバーの上げ方は、各審判主任の指示によるものとする。
- ・男子走幅跳・女子走幅跳はAピット(トラック側)、Bピット(スタンド側)で行う。

10 学校対抗混成について

- ・学校対抗混成は1校2名以上男子8名以内、女子7名以内で行う。
- ・各種目の記録を混成競技得点表より得点化し、合計得点で競う。
- ・当日朝の招集時に選手の変更を認める。ただし、学校対抗混成にエントリーしている選手に限る。
- ・チームの事情により、スタートできない種目があっても、チームは失格とならない。

1.1 用器具

- ・競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。
- ・ただし、砲丸、やりについては検査を受けて承認されたものに限り、個人所有のものが使用できる。
(すべての検査は1日目は9:30、2日目は9:00までに100mスタート付近の用器具倉庫前にて行う。) なお、検査を受ける用器具は日本陸上競技連盟の検定品であること。

1.2 抗議と上訴

- ・競技規則 TR8 によって行う。

1.3 欠場

- ・各種目にやむを得ず欠場をする者は、できるだけ早く競技者係に申し出る。
(競技者係は100mスタート付近用器具倉庫内に設ける。)

1.4 その他

- ・競技中の疾病・傷害などの応急処置は主催者側で行う。
- ・プログラムに誤りがある場合には、速やかに本部に申し出ること。
- ・参加各校の顧問は、競技役員または補助役員を必ずおこなう。
- ・参加各学校より1名以上の補助員を出し、本部前に集合すること。
- ・参加選手についてもフィールド競技の準備等についてできるだけ協力すること。
- ・本大会に不明な点がある場合には、顧問または生徒の代表が本部まで問い合わせること。
- ・メインスタンドでの部旗、横断幕等の設置は禁止とする。
- ・トラック、フィールドでの付き添い及び応援は一切禁止する。
- ・貴重品は各自で保管し、紛失には十分注意すること。
- ・ビデオ、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。(競技規則 TR6)
- ・ごみについては持ち帰りを原則とする。
- ・競技場の開門は両日とも7時00分(予定)とする。それ以前には入場しない。(競技場の状況によっては開門時間が早くなる場合がある。) 競技終了後は、速やかに退場すること。

☆ 安全対策について

- ・競技会に参加の競技役員、選手、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・本競技場での練習は決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。
1, 2, 3レーンは周回練習に使用し5, 6, 7, 8レーンはスプリント練習等で使用する予定です。
- ・周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先する。
- ・トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認をおこなう。
- ・ウォーミングアップの際、事故防止の為に、必要な声の掛け合いをおこなう。
- ・投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。
- ・投てき物(やり等)の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・チューブ等器具を使用しての練習は安全面から行わない。

警告について

- ・競技規則 CR 18. 5の規定により、不当な行為をした競技者やリレーチームには審判長から警告(イエローカード)を与えられることがある。イエローカードを2回(レッドカード)受けると競技会から除外となる。